

# 受験上の諸注意

下記の注意事項を熟読のうえ、受験してください。

- (1) 別紙『新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための注意』を熟読し、各自で感染予防対策をとってください。
- (2) 学力検査当日は、気象状況、交通事情等を考慮して、余裕をもって学力検査場に到着してください。
- (3) 学力検査場に入場できるのは、受験者のみです。受験者以外の入場は、受験上の配慮として付添者の同伴を許可された場合に限りです。許可のない保護者等の入場はできません。
- (4) 試験室内の換気のために窓の開放等を行う時間帯があるため、上着等を持参してください。
- (5) 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者は、他の受験者や監督者等に感染するおそれがあるため受験できませんので、追試験の受験を申請してください。
- (6) 保健所から新型コロナウイルス感染症患者との濃厚接触者として健康観察や外出自粛を要請されている者のほか、過去2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域から日本に入国した者（以下「濃厚接触者」という。）は、無症状であれば、以下のア～エの要件を全て満たしている場合は受験が認められます。受験を希望する場合には、試験前日の午前10時までに、名古屋工業大学入試課（052-735-5083）に電話連絡してください。

なお、要件を一つでも満たさない場合は受験できませんので、追試験の受験を申請してください。

ア 初期スクリーニング（自治体によるPCR検査又は検疫所における抗原定量検査）の結果、陰性であること

※一般のクリニック等での検査では受験要件を満たしません。

※検査結果が判明するまでは受験はできないため、その場合は追試験の受験を申請してください。

イ 受験当日も無症状であること

ウ 公共の交通機関（電車、バス、タクシー、航空機（国内線）、旅客船等）を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて学力検査場に行くこと

エ 終日、別室で受験すること

(注) 名古屋工業大学入試課（052-735-5083）に電話連絡した上で、以下の事項について受験者本人が自署した書面をファックス・メール等で提出してください。

- ・受験番号、氏名及び緊急連絡先
- ・濃厚接触者に該当すると判断した保健所の名称
- ・保健所から濃厚接触者に該当すると連絡があった日
- ・保健所から健康観察期間として不要不急の外出を控えるよう指示されている期間
- ・保健所によるPCR検査の結果又は検疫所による抗原定量検査の結果  
(一般のクリニック等での検査では受験要件を満たしません。)

- (7) 試験当日、発熱・咳等の症状があり、試験当日の検温で37.5度以上の熱がある場合は、追試験の受験を申請してください。特に、別紙『新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための注意』に記載している「健康状態チェックリスト」の確認項目のうち、A欄で1項目以上又はB欄で2項目以上該当する場合は、他の受験者や監督者等の安全確保のため、受験できません。追試験の受験を申請してください。

- (8) 学力検査場に到着してから発熱・咳等の症状が出た場合は、休養室等で医師等により「健康状態チェックリスト」に基づき症状等を確認後、追試験の受験を申請してもらうことがありますので、監督者や学力検査場の担当者に申し出て、指示に従ってください。
- (9) 受験者に対する連絡事項については、掲示で行いますので、学力検査場内の掲示にはよく注意してください。
- (10) 受験票は、インターネット出願サイトよりダウンロードし、印刷して学力検査当日持参してください。  
なお、学力検査当日紛失に気付いた場合は、試験実施本部に申し出てください。
- (11) 学力検査開始 20 分前までに、面接は 30 分前までに、指定された試験室の自席に着席してください。
- (12) 昼食は各自持参の上、「数学」の試験終了後から 12 時 10 分までの間に、自席で食事をとってください。
- (13) 学力検査（数学、理科、英語）は、試験開始後 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- (14) 本学受験票及び大学入学共通テスト受験票を持参し、学力検査の際、机上の受験番号の手前に置いてください。
- (15) 机の上には、受験票のほか、黒鉛筆（H、F、HBに限る。）、シャープペンシル、プラスチック製消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの、ただし、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものを除く。）以外のものを置くことはできません。
- (16) 解答用紙には、志望課程等及び受験番号を記入し、氏名を書かないでください。
- (17) 試験問題及び下書き用紙(理科)は、持ち帰ってください。
- (18) 試験進行の合図は、原則としてチャイムにより、次のとおり行います。  
なお、小論文は「創造工学教育課程」のみとなります。

区 分	数 学	理 科	英 語	小論文	備 考
予 鈴	9 : 10	12 : 25	14 : 50	16 : 50	この時刻までに試験室に入室してください。受験上の諸注意を指示します。
始 鈴	9 : 30	12 : 45	15 : 10	17 : 10	解答開始
終 鈴	11 : 30	14 : 25	16 : 30	17 : 50	解答終了

- (19) 「創造工学教育課程」の面接は、2 日目の 9 : 00 までに控室に集合し、9 : 30 から開始します。
- (20) 出題教科の「英語」で「マークシート式解答用紙」を使用します。出題形式は、マーク解答と記述解答を併用します。  
マークシート式解答用紙を解答する際は、次の点に注意してください。
- ① マーク解答には、必ず黒鉛筆（H、F、HBに限る。）及びプラスチック製の消しゴムを使用してください。黒鉛筆以外のもの（シャープペンシル等）を使用してマークした場合には、解答が読み取れないことがありますので、使用しないでください。
  - ② 受験番号が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
  - ③ 解答は、解答用紙の「マーク例」に従って、正しくマークしてください。マークが薄い場合、一部分しかマークしていない場合、訂正箇所を消しゴムできれいに消していない（消し跡が残っている）場合は、解答が正しく読み取れず、採点できないことがあります。
- (21) 「小論文」を解答する際は、必ず黒鉛筆（H、F、HBに限る。）及びプラスチック製の消しゴムを使用してください。黒鉛筆以外のもの（シャープペンシル等）を使用した場合には、解答が読み取れないことがありますので、使用しないでください。
- (22) 試験室において、不正行為若しくは監督者の指示に従わない行為をした者には、監督者が退室を命ずることがあります。不正行為と判断された場合は、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した個別学力検査のすべての教科・科目の成績を無効とします。